

グループ理念
HINODE PRIDEの
実現・浸透をめざして



社会福祉連携推進法人

日の出医療福祉グループ

業務執行理事 構 忠宏

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ設立にあたって



日の出医療福祉グループ



日の出医療福祉グループは、

- ・社会福祉法人 日の出福祉会
- ・医療法人社団 奉志会
- ・社会福祉法人 博愛福祉会

の3法人による介護・保育・医療などのサービスを提供する共同事業体です。

兵庫県加古郡稲美町本拠のキング醸造株式会社が創立90周年を迎え
地元貢献の一環で「日の出福祉会」を創設したのが出発点となります。

2022年、グループの3法人が30周年の節目を迎え

3法人合計で総売上げ161億円・事業所数170か所・職員数3300人を超える規模に
成長いたしました。

社会福祉法人 日の出福祉会

平成4年(1992年)4月 特別養護老人ホーム稲美苑 開設

医療法人社団 奉志会

平成4年(1992年)5月 大西整形外科 開院

社会福祉法人 博愛福祉会

平成5年(1993年)11月 社会福祉法人認可

これまでの先駆的な取組の例

令和2年(2020年)7月

子ども向け職業体験テーマパーク「キッザニア甲子園」に
当グループから介護福祉士体験のパビリオンを出展。

「キッザニアには銀行員、宅配員など、様々な職種が出展されているものの、
250万人の介護職が出展していないのは介護の人材確保上も好ましくない」
という県福祉部の助言や支援を受け、出展に至りました。

将来の子どもたちへの就労啓発の一方、
介護職の保護者から「自分の仕事子どもたちにわかってもらえる」との声もあり
今後とも兵庫県と協働して取り組んでまいりたいと思います。



キッザニア

3歳～15歳までの子どもが楽しく職業体験できるテーマパーク
様々な業種の企業・法人が体験パビリオンを出展
現在、東京・兵庫（西宮市甲子園）・福岡の3か所に開設

社会福祉連携推進法人認定までの経過

令和2年6月	社会福祉法の改正法可決を受け、これまでの「一般社団法人 日の出医療福祉グループ」での取り組みを含め、社会福祉連携推進法人化の方針を定める。
令和2年10月	社会福祉連携推進法人設立のため、OB人材の派遣を兵庫県に要請。
令和3年4月	グループ内に「連携法人準備室」を設置し、設立準備に着手。
令和4年7月	兵庫県に認定申請。
令和4年8月	社会福祉連携推進法人に認定を受ける。

社会福祉連携推進法人設立まで

平成28年（2016年）

社会福祉法人 日の出福社会・医療法人社団 奉志会・社会福祉法人 博愛福社会の
共同事業体として「一般社団法人 日の出医療福祉グループ」を設立。

今回の社会福祉法改正に先駆け、3法人が連携し

- ・地域公益事業の推進（日の出塾開催や兵庫大学との連携など）
- ・ICT化の共同実施
- ・キッザニア甲子園への参画等の取り組み を実施。

令和4年（2022年）

3法人合わせた収益規模が161億円、職員数が3300人に。
兵庫県社会福祉事業団を上回る規模まで成長していることなどから
兵庫県内の社会福祉法人のトップの自負と誇りのもと、
「社会福祉連携推進法人」の県内第1号の認定をめざし申請。

- ・グループとしての誇りをもちブランディングを確立させる
- ・連携の取り組みの定着・深化を図る

ことを目当てに、社会福祉連携推進法人の的確な運営に努めていく。

社会福祉連携推進法人設立の意義

社会福祉連携推進法人の設立は
これまでの一般社団・一般財団法人法ではなく
社会福祉法に基づく法人となることで

- ・ 金融機関等の信用の向上
- ・ 確保困難な介護人材の求人力・定着化の向上

など、連携推進事業を進めるうえでメリットがあります。

さらに、

- ・ キツザニアでの子どもたちの就業体験事業のような兵庫県と連携した取り組み
- ・ インドネシア政府（労働省）との人材養成協定に基づく特定技能者の養成などの国際的な取り組み（2022年に調印）

が可能となると考えています。



インドネシア労働省との協定締結式

今後の取り組み

他の福祉法人に対し介護・福祉事業の経営相談を通じて、
当法人の理念や趣旨への賛同を誘引し、賛助会員での入会を促します。

入会后1～2年の実績を踏まえ、当該法人が希望し、
当法人の理事会で承認された場合
当法人の社員となる道すじを示そうと考えています。

計画としては社員法人の数について、
現在の3法人から2023年には4法人、
2024年には5法人への拡大が当面の目標となります。

資料編



社会福祉連携推進方針（令和4年8月1日兵庫県知事認定）

認定後の法人の名称	社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ	
理念・運営方針	<p>次の理念の実現をめざし、これまでの一般社団法人を改組し、社会福祉連携推進法人を設立する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉連携推進業務を通じて、日の出医療福祉グループの理念である「HINODE PRIDE」（お客様のよろこび、働く人のよろこび、地域のよろこび）の実現・浸透を図り、もって、地域住民に安心・安全かつ質の高い福祉サービスの提供、地域社会への貢献をめざす。 2 社会福祉連携推進法人における共同・連携の一層の充実を図り、介護福祉業務の理解促進、福祉人材の育成・確保、定着をめざす。 3 社会福祉連携推進業務を通じて、日の出医療福祉グループを担う3法人が培ってきた経営ノウハウや経営資源の有効活用を図るとともに、理念に賛同する法人や経営課題を有する法人の参画を促進し、その経営を強化・支援することにより、より効果的・効率的な経営の確保をめざす。 	
社員の名称	社会福祉法人 日の出福祉会、社会福祉法人 博愛福祉会、医療法人社団 奉志会	
社会福祉連携推進区域の範囲	兵庫県加古川市及び加古郡稲美町	
社会福祉連携推進業務の内容	地域福祉支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫大学との連携によるニーズの把握と新たな取組の企画立案業務 ・社員合同の介護福祉課題の研究発表会へ、福祉系大学生の自主的研究発表の場の提供による介護福祉課題の実践的研究の支援業務 ・日の出塾の開催を通じた地域住民への取組の周知、広報業務 ・その他、社員が共同で行う「地域における公益的な取組」の企画・立案、実施に向けた調整業務
	災害時支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社員が連携して対応するため、災害対応指針の策定や、危機管理対策本部の合同設置業務 ・社員の各施設、事業所でのBCP策定支援業務
	経営支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の業務におけるICT化の推進業務（受託） ・社員のWeb広報等の推進業務（受託） ・社員の施設、事業所に対する財務状況のコンサルティング業務 ・福祉、介護事業経営相談室の開設業務
	貸付業務	【実施なし】
	人材確保等業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の人材採用業務（受託） ・社員の医療、介護人材の確保等の支援業務 ・インドネシア労働省との協定に基づく特定技能者（介護）の養成及び社員への受入支援業務 ・社員の研修の実施支援業務 ・学生対象の奨学金制度の運営、地元サッカークラブ選手の「スポーツ枠」採用の仕組み作りによる社員の介護人材の確保支援業務 ・キザニア甲子園への出展を通じ、小学生等や同伴の保護者等（社員の従業員含む）に対する介護業務の理解促進による介護人材の定着化促進業務（社員の従業員の離職防止）
	物資等供給業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社員のモバイル機器、サービス（ソフトウェア）等の一括調達業務 ・社員のIT機器導入の平準化（単価設定）による経費削減業務 ・福祉、医療等の業務用物資等の共同調達の支援業務
その他業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務におけるICT化、Web広報等の推進支援業務 	

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

I 概要

1 法人の目的と事業

- (1) 社会福祉連携推進業務を通じて、日の出医療福祉グループの理念である「HINODE PRIDE」(お客様のよろこび 働く人のよろこび 地域のよろこび)の実現・浸透を図り、もって、地域住民に安心・安全かつ質の高い福祉サービスの提供、地域社会への貢献をめざします。
- (2) 社会福祉連携推進法人における共同・連携の一層の充実を図り、介護福祉業務の理解促進、福祉人材の育成・確保・定着をめざします。
- (3) 社会福祉連携推進業務を通じて、日の出医療福祉グループを担う3法人が培ってきた経営ノウハウや経営資源の有効活用を図るとともに、理念に賛同する法人や経営課題を有する法人の参画を促進し、その経営を強化・支援することにより、より効果的・効率的な経営の確保をめざします。

社会福祉連携推進法人認定時における令和4年度の事業計画については、同法人が担う次の業務に整理して、各事業を推進します。

- (1) 地域福祉支援事業
- (2) 災害時支援事業
- (3) 経営支援事業
- (4) 人材確保等事業
- (5) 物資等供給事業
- (6) その他の事業(収益事業)



令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

II 事業内容

1 地域福祉支援事業

次の事業のほか、社員法人が共同で行う「地域における公益的な取組」の企画・立案、実施に向けた調整を進めていきます。

(1) 兵庫大学等との連携によるニーズの把握と新たな取り組みの企画立案

兵庫大学（加古川市）との連携により、介護人材に係るニーズを把握し、同大学の入学希望者及び学生を対象とした奨学金制度（社員法人は、職員採用により、勤務年数に応じて返還免除）を創設するなど、社員法人と共同による新たな取り組みを企画立案してきました。

今後も同大学教員との意見交換や同奨学金貸与者からの聴き取り等を通じて、地域課題やニーズ（介護人材の育成・確保等）を把握・分析し、地域公益に関する取組の改善や、新たな取組の企画立案を行っていきます。

(2) 社員合同の介護福祉課題の研究発表会の開催支援

毎年、社員法人合同で開催している介護福祉課題の研究発表会へ、兵庫大学教員等と連携して、福祉系大学生の自主的研究発表の場を提供し、介護福祉課題の実践的研究を支援します。

(3) 日の出塾の開催を通じた地域住民への取組の周知・広報

社員法人との合同開催及び兵庫大学との連携により、医療介護業界のトップランナーや著名な専門家を講師とした講演会「日の出塾」を開催し、地域住民・学生（講演会の参加者等）に対して、当法人及び社員法人の地域公益に関する取組の周知・広報を図ります。

<実施頻度>概ね月1回開催 各2時間程度
<実施場所>加古川市平岡町新在家2333-2 日の出医療福祉グループ本部ほか
<実施方法>対面講座、ウェビナーを用いたオンラインセミナーの併用



日の出塾の開催

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

2 災害時支援事業

「日の出医療福祉グループ災害対応指針」に基づき、台風・地震等の発生など危機管理事案に対して利用者の安全安心を図るため、社員法人が連携して、危機管理（災害）対策本部を合同で設置し、被害を最小限にとどめるとともに、一刻も早い事業継続と早期復旧をめざします。

また、従来の大地震等の自然災害に関するBCP（事業継続計画）に加え、令和3年度介護報酬改定で新たに全サービスに義務化（令和6年4月までに策定）された感染症発生時のBCPの策定支援を進めます。

3 経営支援事業

(1) 業務におけるICT化の推進（受託業務）

業務に使用するIT機器やサービスの調達・導入やインフラ整備、システム導入・開発に至るまで幅広く担当し、業務におけるICT化を迅速かつ安全に提供することで、社員法人が将来にわたり事業継続可能となるよう支援します。

業務で使用するパソコン・モバイル機器などの調達・管理／システム導入支援・開発・保守による業務の工数・経費削減、効率化／
会計処理システムの導入支援・開発・保守による経理業務の工数・経費削減／サイバーセキュリティ対策業務／
新規事業所開設時のIT導入支援・インフラ整備、既存事業のIT関連全般の保守業務／
IT関連の各種契約状況の見直し・最適化により経費削減／ヘルプデスク業務

(2) Web広報等の推進（受託業務）

社員法人からWebサイト・広報物等の制作や、広告運用などを受託し、医療・介護・福祉施設もしくは受託企業のPR支援ならびに利用者獲得を図ります。

Webサイトの制作・更新・保守／パンフレット・チラシ・名刺等、印刷物の制作／施設・サービスのPR動画、採用動画等の制作／
インターネット広告・SEO対策・新聞折込・ポスティング等を駆使した集客・採用支援

(3) 広報活動の推進（受託業務）

当法人の機関誌（広報誌）を毎月発行するとともに、広報知識を有する専門家からの助言により、適切な広報活動を行います。

広報誌の発刊：月1回（年12回）／新聞・テレビほかマスメディアへの情報提供



サーバー管理



Web・広報物制作

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

3 経営支援事業 (続)

(4) 外国人介護人材の確保支援

社員法人等に対して、外国人技能実習生・外国人留学生ほか、介護職等の採用支援を行います。

フィリピン、ネパール等における介護人材の現地情報収集・提供／外国人技能実習生等の受け入れ支援

(5) コンサルティング事業

当法人の社員法人及び職員は、医療及び社会福祉事業運営に関する高度なノウハウを保有しており、これをもとに医療・介護・福祉のレベルアップを図るとともに、連携を強化するため、各法人の医療施設及び社会福祉施設に対して、コンサルティングを展開します。

(5)-a：社会福祉事業運営者の人的交流支援

社員法人または社員外の社会福祉事業運営者に対して、管理者などの資格保有者を出向させるなどの方法により、社会福祉事業の運営方法、受益者の確保・補助金の獲得など収益力の強化、受益者に対するサービス向上などを実地に教育し訓練を行わせます。これらにより、クライアントの行う社会福祉事業を軌道に乗せ、経営の安定を図ります。

自立支援を進めるための取組の指導／リハビリ機器の選定及びリハビリメニューの作成／システム化等効率化を張った利用者確認のノウハウ提供／運営管理システムの構築支援

(5)-b：専門的知識を有する者の助言等

専門的知識を有する者からの助言も併せ、コンサルティングを行います。

導入する機器の仕様及び機種を選定／人材教育（危機管理、感染症対策等）／財務・経営相談

(5)-c：福祉・介護事業経営相談室の実施(*)

福祉・介護事業経営について課題を抱え、相談を希望する法人等に対し、専門の経営相談や介護事業実践管理者による相談を行います。

■対象：賛助会員及び会員外法人（社員法人が主として事業を展開している兵庫県内・近畿圏・関東圏等の法人）

■経費：相談を希望する法人が実費（当法人が支払う相談担当者の日当及び旅費）を負担

*会員外法人についてはこの経営相談を通じて当法人の理念や趣旨への賛同を誘引し、当面賛助会員での入会を促します。1～2年の実績を踏まえ、当該法人が希望され、理事会で承認された場合、社員となる道すじを示していきたいと考えています。
※社員法人化計画（当面3か年の目標）
2022/08（連携推進法人設立時）3法人
→2023年 4法人→2024年 5法人(2024年)

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

4 人材確保等事業

(1) 研修等の実施支援

資格取得支援講座として教育研修(*)の実施を支援し、社員法人による共同実施のみならず、賛助会員や他の法人にも活用を呼び掛けます。

(*: 主な研修・講座：初任者・実務者研修／介護サービス必須研修／介護福祉士・介護支援専門員支援講座／喀痰吸引研修)

(2) 医療・介護人材の確保等の支援

(2)-a：インドネシアにおける特定技能者養成等＜新規＞

インドネシア政府（労働省）と当法人との間で、新たに協定を締結し、特定技能労働者の受入事業を開始します。社員法人との連携により、インドネシア現地の養成学校での養成及び特定技能者（介護）の受入・採用を支援します。

(2)-b：人材確保・人材交流支援等

社員法人に対して、人材確保・人材交流を目的として、エキスパート人材(*)の出向を行います。職業紹介事業についても、関連法人が活用することを呼びかけるなどの支援を行います。

*：管理職・介護支援専門員・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護福祉士など

(2)-c：社員法人からの人材採用業務（Web等）の受託

社員法人からの人材採用業務を受託することにより、社員法人における事業効率化と優秀な人材確保を実現します。専門の求人サイトの立ち上げと有効な運営／就職セミナーの開催／応募者母集団の形成方法等採用ノウハウの標準化／応募者・採用各社双方との有効な連絡体制の確立



介護職員初任者研修修了風景
(2018年)



求人Webサイト

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

4 人材確保等事業 (続)

(2)-d 「スポーツ枠」採用による介護人材の育成・確保

地元サッカークラブ選手を「スポーツ枠」として、介護施設職員として採用し、働きながらプロサッカー選手をめざす若者の支援を通じ、社員法人の施設での介護人材の育成・確保に繋がっていきます。

(2)-e：奨学金制度による介護人材の育成・確保

兵庫大学等との連携により、兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科への入学希望者及び学生を対象とした奨学金制度の運営（奨学金貸与者の就職）を通じ、社会福祉の専門的知識を習得した福祉分野における人材育成を行うことにより、社員法人の施設での介護人材の育成・確保に繋がっていきます。必要に応じ、兵庫大学に準じて、他の専門学校等についても対象にします。

<p>兵庫大学と連携した奨学金制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none">■募集定員：3名■募集内容：兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科等への入学希望者及び学生で、将来、社会福祉分野への就職を希望する者に4年間もしくは通学期間の学費の一部を貸与する。■貸与額：月額5万円／年間60万円（社員法人への就職時は、在籍年数に応じて返還を免除）
--

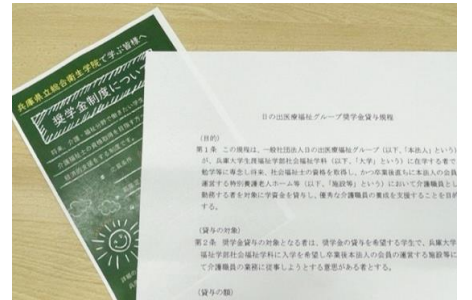
(2)-f：人材確保・人材交流支援等

少子高齢化の進展に伴う介護ニーズが高まるなか、介護人材の確保が喫緊の課題になっています。地域公益事業として、将来の介護の担い手である小学生等の子ども向けに介護福祉士の仕事を体験できる「ケアサポートセンター」パビリオンを、キッザニア甲子園に出展し、兵庫県と協力して介護サービス制度の普及と、介護の仕事の啓蒙に努めます。

このようなキッザニア甲子園への出展及び体験者への当グループのパンフレット配布等を通じ、将来の介護の担い手である小学生等に対して介護の仕事の啓蒙するとともに、同伴者の保護者等（社員法人の従業員含む）に対しても介護業務の理解促進や当グループのイメージアップにより、介護人材の定着化（社員法人における従業員の離職防止）を促進し、当グループでの人材確保・定着に繋がっていきます。



「スポーツ枠」採用（フェントウレリア）



奨学金貸与規程（兵庫大学ほか）



キッザニア甲子園 パビリオン「ケアサポートセンター」 15

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

5 物資等供給事業

(1)ICT機器の一括発注

業務に使用するIT機器やサービスの調達・導入やインフラ整備、システム導入・開発に至るまで幅広く担当し、業務におけるICT化を迅速かつ安全に提供することで、社員法人が将来にわたり事業継続可能となるよう支援します。

(2) 福祉・医療等の業務用物資等の共同調達の支援

介護用物品の購入、ガス・電気・ガソリン等のエネルギーの購入、車両購入・リース契約等にあたり、優先的価格の紹介や一括価格交渉を行うなど、グループ内法人の物資等の調達を支援します。



携帯電話の一括発注

6 共通（事務局等）

社会福祉連携推進業務全般の企画調整、行政や関係団体との連絡調整、適時適切な事務局運営を進めます。

7 その他の事業（収益事業）

業務におけるICT化・Web広報等の推進支援（外部受託業務）

賛助会員やその他の法人から、業務におけるICT化、Webサイト、広報物等の制作や、広告運用などを受託し、医療・介護・福祉施設もしくは受託法人のPRならびに利用者獲得を支援します。

8 法人管理業務（理事会等）

(1)経営戦略会議－HINODE PRIDE会議－の開催

社員法人等を対象として、経営理念－HINODE PRIDE－の浸透、組織のあり方、具体的かつ効率的な連携の内容などの会議を実施します。当法人では、大局的かつ指導的立場から議論の行方をコントロールし、アドバイスを行うなど、総合的にグループの経営戦略を検討します。

■実施場所：加古川市平岡町新在家2333-2 日の出医療福祉グループ会議室

■実施頻度：HINODE PRIDE会議（月1回開催／各4時間程度）

令和4年度社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ事業計画 (令和4年8月1日から令和5年3月31日まで)

8 法人管理業務（理事会等）（続）

(2) 社員総会・理事会・社会福祉連携推進評議会の開催運営

定款に基づき、定期的に、社員総会、理事会及び社会福祉連携推進評議会を開催するほか、必要に応じて、随時開催します。
また、決算・事業報告にあたり、監事監査を実施します。

社会福祉連携推進法人予算	令和4年度	令和5年度
	(R4.8~R5.3/8ヶ月)	(R5.4~R6.3/12ヶ月)
①地域福祉支援業務（日の出塾、研究発表会の開催支援等）	1,360	1,840
②災害時支援業務（危機管理対策本部の設置等）	80	120
③経営支援業務（ICT化・Web広報等の推進支援、コンサルティング等）	61,157	90,700
④人材確保等業務（外国人材・人材採用等の支援、イメージアップ（キッサニア）等）	17,480	57,320
⑤物資等供給業務（ICT機器の一括発注等）	160	240
⑥共通（事務局運営費等）	10,400	15,680
社会福祉連携推進業務・小計（①～⑥）	90,637	165,900
⑦その他の業務（ICT化・Web広報等の外部受託業務）	6,400	9,600
⑧法人会計（社員総会・理事会の開催等）	3,083	4,500
合 計	100,120	180,000

役員（理事・監事）	
代表理事	大西 壯司
副代表理事	大西 奉文
業務執行理事	構 忠宏
理事	中村 三郎 増田 優子 山本 勝也
監事	岡田 奈良夫 河野 健一

社会福祉連携推進評議会委員（意見具申・業務評価機関）
荒尾 幸三（弁護士）
鶴谷 明憲（（公財）アジア共生教育財団 副理事長）
守部 精寿（サンホーム大庄西 施設長）
冷泉 為人（（公財）冷泉家時雨亭文庫 理事長）

社員法人
社会福祉法人 日の出福祉会
医療法人社団 奉志会
社会福祉法人 博愛福祉会

賛助会員法人（*は、社会福祉事業を実施する法人）	
社会福祉法人 神戸日の出会 *	医療法人社団 北瀬循環器科内科
社会福祉法人 はりま福祉会 *	日の出ケア株式会社 *
社会福祉法人 欣生会 *	株式会社PRIME
医療法人 医敬会 *	NPO法人 のじぎく高砂 *
医療法人社団EMIFULL	

社会福祉連携推進法人
日の出医療福祉グループ

| 法人案内

HINODE
MEDICAL&WELFARE GROUP

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

TEL 079-490-7121 / FAX 079-490-7221

<https://hinode.or.jp/>



HINODE PRIDE

【グループ理念】

お客様の
よるこび

働く人の
よるこび

地域の
よるこび

利用することを誇りに感じていただける医療機関・福祉施設であること。
誇れるサービスを提供すること、誇らしいと思える職場であること。
安心のサービスを提供し、地域の支えになるような存在になること。
これらを実現するため、私たちは日の出医療福祉グループに参画し、行動します。

グループ基本方針

1. 新たな挑戦を続けます。
2. 日々の出会いに感謝します。
3. お客様に最善を尽くします。
4. 信頼できる仲間をつくります。
5. 健康に働ける環境を追求します。

Overview

【グループ概要】

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループは、「日の出福祉会」「奉志会」「博愛福祉会」の3法人を社員とする、介護・保育・医療などのサービスを提供する共同事業体です。

 社会福祉法人
日の出福祉会
設立 1992年3月24日
代表 中田 喜久
事業内容 介護・保育

 社会福祉連携推進法人
日の出医療福祉グループ

 社会福祉法人
博愛福祉会
設立 1993年11月30日
代表 大西 弘文
事業内容 介護・保育

 医療法人社団
奉志会
設立 1994年10月25日
代表 大西 泰文
事業内容 医療・介護・美容・障がい福祉

●グループ全体 (2022年4月現在)

売上 (2021年度決算概算) **161億円**

従業員数 **約3,300人**

事業所数 **約170カ所**

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ

一般社団法人設立 2016年7月28日

社会福祉連携推進法人認定 2022年8月1日

事業内容 1. 地域福祉支援業務 2. 災害時支援業務 3. 経営支援業務
4. 人材確保等業務 5. 物資等供給業務

【役員(理事・監事)】

代表理事 大西 壯司
副代表理事 大西 奉文
業務執行理事 構 忠宏
理事 中村 二郎 増田 優子 山本 勝也
監事 岡田 奈良夫 河野 健一

【社会福祉連携推進評議会委員】

荒尾 幸三 (弁護士)
鶴谷 明憲 ((公財)アジア共生教育財団 副理事長)
守部 精寿 (サンホーム大庄西 施設長)
冷泉 為人 ((公財)冷泉家時雨亭文庫 理事長)

社員法人 (2022年8月現在)

・社会福祉法人 日の出福祉会
・医療法人社団 奉志会
・社会福祉法人 博愛福祉会

賛助会員法人 (2022年8月現在)

・社会福祉法人 神戸日の出
・社会福祉法人 はりま福祉会
・社会福祉法人 欣生会
・医療法人 医敬会
・医療法人社団 EMIFULL
・医療法人社団 北瀬循環器科内科
・日の出ケア株式会社
・株式会社 PRIME
・NPO法人 のじきく高砂

2020年に社会福祉法が改正され、2022年4月から「社会福祉連携推進法人制度」の運用が開始されたことを受け、「一般社団法人 日の出医療福祉グループ」は、2022年8月1日、「社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ」に認定されました。兵庫県内では初めて、全国で3番目の設立となりました。

社会福祉連携推進法人としての 私たちの使命は医療福祉サービスを 地域のすみずみまで届けること

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ

代表理事 大西 壮司



2016年に一般社団法人として、日の出医療福祉グループを立ち上げ、日の出福祉会・奉志会・博愛福祉会の三法人の連携事業を始めました。将来的に社会福祉事業を継続していくには、零細法人では情報、資金、人材確保の面で限界が見えていたからです。

2020年社会福祉法が改正され、「社会福祉連携推進法人制度」の枠組みができあがった時、私たちが考えてきたこととまったく同じだと思いました。もともと法改正に先駆けて、一般社団法人を中心に連携していたので、社会福祉連携推進法人化をめざして動き出し、2022年8月1日に兵庫県知事から認定されました。

連携推進事業のうち、基本的には地域福祉事業の展開、経営支援(特にICTの推進)、外国人人材も含めた人材の確保、新卒者の人材の確保など、連携できる事業はさらに充実させながら、それぞれの法人の業務を支援していきたいと考えています。

また、インドネシア人材育成事業といった国際的な事業の展開は、一つの法人では難しいけれども三法人が連携すればできます。そういった事業を通じて、地域貢献を果たしていきたいと思っています。

社会福祉連携推進法人である我々の使命は、医療福祉サービスをすみずみまで届けることだと思っています。具体的には、株式会社などの営利企業ではサービスを届けきれないような社会的に苦しい立場に置かれている方々や、手助けが必要だけれどもサービスに繋がることができない人たちをもれなく支援するということです。

「誰一人取り残さない」社会的セーフティーネットを我々が担っていくという気概を持って事業に取り組んで参ります。この想いは、国連が提唱するSDGsの“leave no one behind”(誰一人取り残さない)という理念と一致します。社会福祉連携推進法人という法人は、我々が実施している医療福祉事業において、持続可能でよりよい世界をめざすSDGsを推進するために最適な形だと考えています。

社会福祉連携推進法人化を機に、日の出医療福祉グループで働く職員の皆さんと一緒に、我々の使命を全うしていきたいという想いを新たにしています。社会福祉連携推進法人の先陣を切った今、我々の取組が社会福祉連携推進法人の内容となり、我々に続いてくる法人の二本となり、目標となっていくと思います。「誰一人取り残さない」社会を作るためのトップランナーとして取り組んでいきます。

連携推進事業を進めていくうえで、色々課題が出てくると思います。前例にとられない業務改善、社会問題解決のための新たな挑戦に、意欲的に取り組んで参ります。そうした取組すべてが、HINODE PRIDE「お客様のよろこび」「働く人のよろこび」「地域のよろこび」に繋がると考えています。



社会福祉連携推進法人の認定式

社会福祉連携推進法人の特色とは

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ

業務執行理事 構 忠宏



社会福祉連携推進法人は、社会福祉法人と大きく違う特色があります。社会福祉事業を行わない点です。社会福祉連携推進法人は社会福祉法人、医療法人等が社員法人として集まってできた法人で、人材確保やICT化の推進といった連携推進事業を行う法人です。

連携推進事業の目的は、公益的な活動、経営支援などの推進です。この二つが柱となります。地域福祉事業の推進(日の出塾など)、経営支援(ICT化の共同実施)、外国人人材採用等の国際的な取組を含む人材確保事業など、幅広く事業が展開できるようになります。

社会福祉連携推進法人になったことで、金融機関の信用度など、社会的な信頼度が向上します。より良い人材が集まり、職場に定着していくことも期待できると考えています。

社会福祉連携推進法人の社員法人は、提供する福祉サー

ビスや業務を行うにあたって、「社会福祉連携推進法人」の社員であることを明示しなければなりません、一体感(プライド)を持っていただけます。

グループで働くすべての人にプライドを持っていただくことで、優秀な人材が集まり、ICT化などに優れた施設や設備をもち、信用力のアップに伴って豊富な資金力がある魅力ある集合体になっていくと思います。

利用者様に対しても「日の出医療福祉グループの施設だから安心」と思っていたら、サービスの質を担保できることが期待できます。

HINODE PRIDEに基づいたサービスを提供することによって、お客様のよろこび、地域のよろこびに繋がっていき、社会福祉連携推進法人化によって、さらに一層、地域貢献できると考えています。



社員法人の施設・事業所の構成

名称	社会福祉法人 日の出福祉会	医療法人社団 奉志会	社会福祉法人 博愛福祉会
区域	兵庫県 東京都 神奈川県 埼玉県	兵庫県 大阪府 奈良県 神奈川県	兵庫県 神奈川県 埼玉県
事業内容	<p>○介護事業(高齢者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム 4か所 ショートステイ 4か所 グループホーム 4か所 軽費老人ホーム 1か所 デイサービス 5か所 ホームヘルプ 3か所 小規模多機能居宅介護事業所 5か所 居宅介護支援事業所等 6か所 <p>○保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園・こども園等 17か所 	<p>○医療事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療所(クリニック) 5か所 (訪問診療・美容クリニック・ デイクア・訪問リハ含む) <p>○介護事業(高齢者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設 1か所 (訪問リハ・ショートステイ・デイクア) 居宅介護支援事業所含む 有料老人ホーム 1か所 <p>○障害福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> グループホーム 7か所 放課後等デイサービス 3か所 	<p>○介護事業(高齢者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム 3か所 ショートステイ 3か所 グループホーム 4か所 有料老人ホーム等 4か所 サービス付き高齢者向け住宅 10か所 デイサービス 11か所 ホームヘルプ 9か所 小規模多機能居宅介護事業所 17か所 看護小規模多機能居宅介護事業所 8か所 訪問看護事業所 7か所 定期巡回訪問介護看護事業所 6か所 居宅介護支援事業所等 11か所 <p>○保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園 1か所 <p>○障がい福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービス 1か所
	連絡先	079-441-8423	079-456-6811

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ

事業概要

理念・運営方針

- ①グループ理念のHINODE PRIDEの実現・浸透を図り、地域住民に安心・安全かつ質の高い福祉サービスの提供、地域社会への貢献をめざす
- ②連携推進法人の共同・連携の一層の充実を図り、介護福祉業務の理解促進、福祉人材の育成・確保・定着をめざす
- ③社員法人の経営ノウハウ・経営資源の有効活用を図り、理念に賛同する法人等の参画を促し、より効果的・効率的な経営の確保をめざす



日の出医療福祉グループ 本部ビル

事業の概要 (1～5は社会福祉連携推進業務)

※社会福祉連携推進業務(6業務区分)の一つである
貸付業務は実施していません。

01 地域福祉支援事業

- 兵庫大学(加古川市)等との連携
- 介護福祉課題の実践的研究の支援
- 日の出塾開催を通じた地域住民等への周知
 - ・概ね月1回開催。対面講座とウェビナーでのオンラインセミナーの併用



日の出塾の開催

02 災害時支援事業

- グループ災害対応指針に基づく連携
- BCP(事業継続計画)の策定支援

03 経営支援事業

- 業務でのICT化の推進(受託事業)
 - ・システム導入支援、開発、保守による経費削減、効率化
 - ・新規事業所開設時のIT導入支援
 - ・ヘルプデスク業務等
- Web広報等の推進(受託事業)
 - ・Webサイトの制作、更新、保守
 - ・パンフレット、チラシ、名刺等の制作
 - ・広報誌の発刊(月1回)等
- 財務状況のコンサルティング
- 福祉・介護事業経営相談室の開設
 - ・賛助会員、会員外法人を対象に、経営相談、介護事業等の相談



サーバーの管理



Webサイトの制作・編集

04 人材確保等事業

- 研修等の実施支援
 - ・資格取得講座、教育研修の実施支援
- 医療・介護人材の確保支援
 - ・Web等による人材採用業務の受託
- 「スポーツ枠」採用の仕組み作り
 - ・地元サッカークラブ選手の社員法人でのスポーツ枠採用の仕組み作り
- 学生対象の奨学金制度の運営
 - ・兵庫大学等との連携により、入学希望者、在学生を対象の奨学金制度(年60万円)の運営により、社員法人への就職支援
- 介護業務への理解促進による人材確保
 - ・キッズニア甲子園へ介護福祉士体験のパビリオン出展。将来の担い手の小学生等への啓蒙、同伴の保護者等への理解促進とイメージアップによる介護人材の確保、定着
- インドネシアでの特定技能者養成
 - ・インドネシア労働省と当法人の協定締結、特定技能者の現地での養成、受入支援



求人Webサイト



KidZania
Kobe
OFFICIAL SPONSOR



キッズニア甲子園 パビリオン「ケアサポートセンター」



インドネシア労働省との協定締結式

05 物資等供給事業

- ICT機器の一括発注・調達
 - ・業務で使用するパソコン、モバイル機器、ソフトウェアなどの調達、管理
- 福祉・医療等の業務用物資等の共同調達支援
 - ・介護用物品の購入、電気等のエネルギー購入、車両購入やリース契約等での調達支援



携帯電話の一括発注

06 法人管理

- 経営戦略会議(HINODE PRIDE会議)の開催
 - ・経営理念の浸透、組織や連携の協議など、グループの経営戦略の検討(月1回)
- 社員総会・理事会・社会福祉連携推進評議会

07 その他の事業(収益事業)

- 賛助会員・その他からのICT化、Web広報等の支援(受託事業)